

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

国のエネルギー基本計画では、「2030年までに新築建築物の平均でZEBを実現することを目指す」とされており、ZEBプランナーとしてZEB建築の普及に貢献し、すべてのステークホルダーと連携を図りつつ、持続可能社会の実現に向けてSDGsの考え方を尊重し、その目標の達成に向けて努力して参ります。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	製造時にCO2排出量の多いコンクリートから国産材利用木質化を推進	CLT(集成直交板)を活用した建築物の取扱い 2023年未実施→2026年実施
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	省エネ化工事・ZEB建築の推進	省エネ化工事・ZEB建築によるCO2削減 2023年1,800t→2026年2,000t
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	地域社会への貢献	地域清掃ボランティア活動 2023年2回→2026年2回継続

<パートナーシップ>

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	・製造時にCO2排出量の多いコンクリートから国産材利用木質化を推進 計画段階でCLT(集成直交板)を利用の計画はあったが費用の問題から断念	国産・県産木材の使用を増加させる	2023年0件
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	・省エネ化工事・ZEB建築の推進 「官庁施設の環境保全性基準」が改定され官庁施設を新築する場合は原則ZEB Oriented 相当以上となった。目標は達成できた。	改修前後、新築では基準値との比較で、2023年までに200tのCO2削減	新築1,218 tCO2/年(4件)、改修582 tCO2/年(2件)、合計1,800 tのCO2を削減
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	・地域社会への貢献 清掃ボランティア2回に加え、地域の一斉清掃にも定期的に参加し、目標は達成できた。	地域清掃ボランティア活動 年1回→年2回	23年度は、清掃ボランティア2回と地域の一斉清掃6回を実施

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。